

2014年11月10日
株式会社日本経済新聞社
エバーノート株式会社

日本経済新聞社と米エバーノートが資本・業務提携し、コンテンツ自動配信サービスを発表
日経電子版と連動、ビジネスパーソンに役立つ情報を提供

日本経済新聞社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：喜多恒雄）と、インターネット上に文書や写真などを保存・共有するサービスを提供するエバーノート（本社：米国カリフォルニア州レッドウッドシティ、CEO：フィル・リービン）は2014年11月10日、資本・業務提携することで基本合意しました。日経はエバーノートに2,000万ドルを出資します。提携第一弾として、エバーノートと『日本経済新聞電子版』の双方のサービス上で、キーワードや文脈にマッチしたコンテンツをタイムリーに自動配信する機能を提供します。日経は今回の提携を通じ、「情報を伝える」だけでなくビジネスシーンで、より「仕事に使える」ツールとしても進化していきます。

日経はデジタル事業を成長の柱のひとつと位置づけており、主力媒体の日経電子版は来年、創刊5周年となります。これまではニュースやコラムを読むための機能を充実させてきましたが、今回の提携でビジネスパーソンが情報を収集・分析したり、資料を作成したりする作業をサポートする、ビジネスで使うツールとしての機能を強化します。エバーノートは文書や写真などあらゆる情報を保存し、必要なときに簡単に取り出したり共有したりすることで個人や組織の生産性を上げるクラウドサービスを提供しています。日経とエバーノートが手を組み、ビジネスパーソンにとって必要な情報を必要な時に、検索なしで提示する機能を共同で開発します。

まず2015年初頭から、エバーノートの利用者が作成する文書の内容に応じて、関連する日経電子版のコンテンツを自動的にエバーノート上に配信する「コンテキスト」サービスを始めます。日経電子版に掲載されている朝刊、夕刊のほか電子版の独自記事などが対象です。自動配信されたコンテンツは簡単にエバーノート内に保存したり、文書作成時に引用したりすることができます。日経電子版を読む際には、利用者本人が過去に作成・保存したものや、グループで共有したエバーノート内の文書から、閲覧中の記事に関連するものを自動的に電子版上に表示する機能も順次提供します。こうした連携機能は、日経、エバーノート双方の有料会員を対象に提供します。

この連携機能は、ビジネスパーソンが仕事を効率的に進める助けとなります。たとえば、エバーノートで業界レポートやプレゼンテーション資料を作成している際に、その業界のニュースやデータに関する電子版のニュース記事が表示されるので、資料作成の大きな助けとなります。日経電子版で企業ニュースを閲覧

しているときには、エバーノートに蓄積した取引先の名刺や競合の製品情報があらわれ、営業のサポートにもつながります。双方の関連情報は利用者が検索することなく、文脈やキーワードを解析して、自動的に表示されます。こうした機能は使えば使うほど、自分に適した情報を得られるようになります。

エバーノートに関連記事を配信するサービスは英語圏向けに米メディア大手のダウ・ジョーンズや米 IT（情報技術）系メディアのテックランチなどが提供を開始していますが、アメリカ以外では日経が第 1 号になります。加えて、利用者がエバーノートに保存したコンテンツのうち、ニュースサイト上で閲覧しているニュースに関連が深いものを表示するサービスは日経電子版が世界で初めてになります。

販売面での協力も進めます。日経、エバーノート両社はサービス開始時から継続的に、共同販促キャンペーンなどを通じて、それぞれのサービス拡大を相互に支援します。

新聞や雑誌記事のほか、企業・人事情報などを提供している会員制情報サービス『日経テレコン』では 2015 年の早い段階で、提供する見出しやキーワードなどの記事情報をクリックひとつでエバーノートに保存できるようになります。今回の連携サービスを第一弾として今後さらに、日経電子版、日経テレコンをはじめとする日経グループのデジタルコンテンツと連携したサービスを共同で展開していきます。

日本経済新聞社 代表取締役社長 喜多 恒雄のコメント：

「日経とエバーノートは、ともに『ビジネスパーソンを応援する』という点で事業の方向性が一致しています。今回の提携は日経の持つ情報をエバーノートを通じて配信するだけに留まりません。両社は今後、オフィスに新しい働き方を提案するようなサービスを共同で開発していきます」

Evernote Corporation CEO フィル・リービンのコメント：

「日本の Evernote ユーザは、世界のユーザの中でもこれまでずっと、最も熱心で生産性への意識が高かったことが特徴です。今回の提携によって、世界一流の豊富な日経コンテンツを、日本の Evernote ユーザのみならず日常的に提供できることになりました。これによってユーザは、今までよりさらに多く、そして高度なことが達成できることになるでしょう。日経がコンテキスト機能におけるアメリカ以外での最初のパートナーとなり、「人々の働き方を革新する」という私たちの挑戦に参加してもらえることを、とても心強く、そして光栄に感じております」

【日本経済新聞社について】

日本経済新聞社は 1876 年以來、約 140 年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。主力媒体である『日本経済新聞』の発行部数は現在約 280 万部で、国内 61 か所、海外 36 か所の取材拠点で 1300 人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。2010 年 3 月に創刊した『日本経済新聞 電子版』の会員数は有料・無料登録を合わせて約 250 万人になっています。

【Evernote（エバーノート）について】

Evernote は、個人や組織の生産性を上げるためのアプリケーションや製品を開発しています。主要製品であるクラウドサービスの Evernote は、現代に働く人々が効率的に「書く」「集める」「見つける」「発表する」ためのワークスペースとして機能します。また、スマートフォンやタ

タブレット、コンピュータなど、さまざまな機器に対応し、いつでもどこでも自分の情報にアクセス可能です。2008年6月のサービス開始以来、全世界で1億人以上のユーザーにご利用いただき、2012年12月には企業向けに「Evernote Business」、2013年9月にはECサイト「Evernote Market」を提供開始しました。ウェブサイト：<http://www.evernote.com>

【サービス画面のイメージ】 ※開発中のもので、仕様を変更する可能性があります

中部と北陸が地盤の食品「**エバーノート**」は4月、名古屋駅近くに採用のための拠点を設けた。「面接など応募者の利便性を高め、優秀な人材を採用したい」という。

デザインやレイアウトも見直しが進む。「**エバーノート**」は入り口などで会社のイメージや事業内容がわかるように設計することを提案する。取引先や求職者への最初の印象が変わるからだ。

既存社員の生産性を上げ、外には自社をアピールする。オフィスに求められるものも多くなりそうだ。

EVERNOTE 関連するノート 連携を解除 ?

新業務用アプリケーションの開発計画メモ

ソフトウェア開発の方針について検討する。今回ソフトのベースになるアーキテクチャーはクラウド上に設計し、非常にスピーディーに社内の要望に応じていけるようにする。他社は日進月歩で進化しており当社として、対応を強化する。日本経済の景気の状態も比較的盤石であり、今後とも各種経済指標を注視していく必要があるだろう。

2014/10/23

新オフィス移転についての検討事項

緑や青などフロアごとにテーマカラーを設けて華やかで顧客の印象を良くする。フロアごとにも、きちんとエリアわけをしゾーンごとの特色を出すようにする。書類は、基本的にクラウド環境を保存するものとし、極力スペースの節約に努めさらなるコスト削減を目指す。営業や企画、総務などなどみんなの協力が要になる。

2014/9/3

小 中 大 保存 印刷 リプリント 共有

アクセスランキング (11/6 17:00 更新)

- 1位 ▶ 誰が、なぜ売った 日本株一時200円超安の背景
- 2位 ▶ APEC直前 突如現れた「北京の青空」
- 3位 ▶ 東証後場寄り、下げに転じる 円安進行受けた買い一巡後は売り
- 4位 ▶ 明るい未来を描けない 韓国の若者を覆う閉塞感
- 5位 ▶ **エバーノート**、日本でもPC直販見直し 代理店活用

▶ もっと見る

人気連載ランキング 11/6 更新

- 1位 ▶ やさしい ことごとと経済学
- 2位 ▶ 超サクッ！ニュースまとめ
- 3位 ▶ 私の履歴書

保存記事ランキング 11/6 更新

- 1位 ▶ **エバーノート**が統合 地銀首脳グループに
- 2位 ▶ 再生エネ普及の条件 (上)
- 3位 ▶ 外国人に負けない交渉術

日経スマートシティコンソーシアム

『日本経済新聞 電子版』の閲覧時には、関連が深いエバーノート内の資料を表示します

The screenshot displays the Evernote application window. The main content area shows a news article from the '日本経済新聞 電子版' (Japan Economic Newswire) with the headline '米エバーノートCEOもうなる女子高生「ITのチカラ」' (American Evernote CEO becomes a high school girl 'IT power'). The article is dated 2014年6月12日 and written by 杉本品子. Below the headline, there is a green banner that reads '生徒たちはクラウドサービス「エバーノート」で情報を共有し授業や課外活動に役立っている' (Students are using the cloud service 'Evernote' to share information and help with classes and extracurricular activities). The interface also shows a sidebar with navigation options and a list of related notes.

エバーノートで資料を作成している時に、関連する「日本経済新聞 電子版」の記事を表示します